



デバイスのファイルシステム、ディレクトリ、およびファイルの使用方法

この章の内容は、次のとおりです。

- [デバイスのファイルシステム、ディレクトリ、およびファイルの概要](#) (1 ページ)
- [ファイルシステム、ディレクトリ、およびファイルのライセンス要件](#) (3 ページ)
- [ディレクトリの操作](#) (3 ページ)
- [ファイルの使用](#) (6 ページ)
- [アーカイブファイルの操作](#) (13 ページ)
- [ファイルシステムの使用例](#) (17 ページ)
- [ファイルシステムパラメータのデフォルト設定](#) (20 ページ)
- [ファイルシステムに関する追加情報](#) (21 ページ)

デバイスのファイルシステム、ディレクトリ、およびファイルの概要

ここでは、Cisco NX-OS デバイスのファイルシステム、ディレクトリ、およびファイルについて説明します。

ファイルシステム

The syntax for specifying a local file system is `filesystem:[//modules/]`.

次の表に、デバイス上で参照可能な各種ファイルシステムの説明を示します。

表 1: ファイルシステムの構文の構成要素

ファイルシステム名	Module	説明
ブートフラッシュ	sup-active sup-local	イメージファイル、コンフィギュレーションファイル、およびその他のファイルを格納するためにアクティブスーパーバイザモジュール上にある内部 CompactFlash メモリ。初期デフォルトディレクトリは bootflash です。
volatile	—	スーパーバイザモジュールにある、一時的または保留中の変更のために使用される揮発性 RAM (VRAM)。
ログ	—	ロギングファイル統計情報を格納する、アクティブスーパーバイザ上のメモリ。
system	—	実行コンフィギュレーションファイルを格納するために使用される、スーパーバイザモジュール上のメモリ。
debug	—	デバッグログに使用される、スーパーバイザモジュール上のメモリ。

ディレクトリ

bootflash: および外部フラッシュメモリ (slot0:、usb1:、および usb2:) にディレクトリを作成できます。これらのディレクトリ間を移動して、ファイルの保存に使用できます。

ファイル

bootflash:、volatile:、slot0:、usb1:、および usb2: ファイルシステムにファイルを作成し、アクセスします。system: ファイルシステムでは、ファイルへのアクセスのみ行うことができます。You can use the debug: file system for debug log files specified in the **debug logfile** command.

FTP、Secure Copy (SCP)、Secure Shell FTP (SFTP)、および TFTP を使用して、リモートサーバからシステムイメージファイルなどのファイルをダウンロードできます。デバイスが

SCPサーバとして動作できるので、外部サーバからデバイスへファイルをコピーすることもできます。

ファイルシステム、ディレクトリ、およびファイルのライセンス要件

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

製品	ライセンス要件
Cisco NX-OS	ファイルシステム、ディレクトリ、およびファイルの使用にライセンスは必要ありません。ライセンスパッケージに含まれていない機能はすべて Cisco NX-OS システムイメージにバンドルされており、追加費用は一切発生しません。Cisco NX-OS ライセンススキームの詳細については、『 <i>Cisco NX-OS Licensing Guide</i> 』を参照してください。

ディレクトリの操作

ここでは、Cisco NX-OS デバイスでディレクトリを操作する手順を説明します。

カレントディレクトリの特定

カレントディレクトリのディレクトリ名を表示できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	pwd 例： switch# pwd	カレントディレクトリの名前を表示します。

カレントディレクトリの変更

ファイルシステムの操作のためカレントディレクトリを変更できます。初期デフォルトディレクトリは `bootflash:` です。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) pwd 例： switch# pwd	現在のデフォルトディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	cd {directory filesystem:[//module/][directory]} 例： switch# cd slot0:	新しいカレントディレクトリに変更します。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。

ディレクトリの作成

bootflash: およびフラッシュ デバイス ファイル システムでディレクトリを作成できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) pwd 例： switch# pwd	現在のデフォルトディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	(任意) cd {directory filesystem:[//module/][directory]} 例： switch# cd slot0:	新しいカレントディレクトリに変更します。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 3	mkdir [filesystem:[//module/]directory] 例： switch# mkdir test	新しいディレクトリを作成します。 <i>filesystem</i> 引数では、大文字と小文字が区別されます。 <i>directory</i> 引数は、64 文字以内の英数字で指定します。大文字と小文字が区別されます。

ディレクトリの内容の表示

ディレクトリの内容を表示できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	dir [<i>directory</i> <i>filesystem</i> :[// <i>module</i>][<i>directory</i>]] 例： switch# dir bootflash:test	ディレクトリの内容を表示します。デフォルト値は、現在の作業ディレクトリです。ファイルシステム名およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。

ディレクトリの削除

ディレクトリは、デバイス上のファイルシステムから削除できます。

始める前に

ディレクトリを削除する前に、ディレクトリが空白であることを確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) pwd 例： switch# pwd	現在のデフォルトディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	(任意) dir [<i>filesystem</i> :[// <i>module</i>][<i>directory</i>]] 例： switch# dir bootflash:test	カレントディレクトリの内容を表示します。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。 ディレクトリが空白でない場合は、ディレクトリを削除する前に、ディレクトリ内のすべてのファイルを削除する必要があります。
ステップ 3	rmdir [<i>filesystem</i> :[// <i>module</i>]] <i>directory</i> 例： switch# rmdir test	ディレクトリを削除します。ファイルシステムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。

スタンバイ スーパーバイザ モジュール上のディレクトリへのアクセス

アクティブスーパーバイザモジュール上のセッションからスタンバイスーパーバイザモジュール（リモート）上のすべてのファイルシステムにアクセスできます。この機能は、アクティブ

スーパーバイザ モジュールにファイルをコピーしたら、同じファイルをスタンバイ スーパーバイザ モジュール上にも存在させる必要がある場合に役立ちます。To access the file systems on the standby supervisor module from a session on the active supervisor module, you specify the standby supervisor module in the path to the file using either `filesystem://sup-remote/` or `filesystem://sup-standby/`.

ファイルの使用

ここでは、Cisco NX-OS デバイスでファイルを使用する手順を説明します。

ファイルの移動

ディレクトリ内のファイルを別のディレクトリに移動できます。



注意 宛先ディレクトリに同名のファイルがすでに存在する場合は、そのファイルは移動対象のファイルによって上書きされます。

move コマンドを使用して、同じディレクトリ内でファイルを移動することにより、ファイルの名前を変更できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) pwd 例： switch# pwd	現在のデフォルト ディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	(任意) dir <code>[filesystem://module/][directory]</code> 例： switch# dir bootflash	カレント ディレクトリの内容を表示します。ファイル システムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 3	move <code>[filesystem://module/][directory /] directory/[source-filename { [filesystem://module/][directory /] directory/ } [target-filename] target-filename]</code> 例： switch# move test old_tests/test1	ファイルを移動します。 ファイル システム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。 <i>target-filename</i> 引数は、64 文字以内の英数字で指定します。大文字と小文字が区別されます。 <i>target-filename</i> 引数を指定しないと、ファイル名はデフォルトで <i>source-filename</i> 引数値に設定されます。

ファイルのコピー

ファイルのコピーは、同じディレクトリまたは別のディレクトリのいずれかで作成できます。

ファイルを HTTP サーバにコピーする場合、ディレクトリまたはファイル名に任意の有効な文字（「~」など）を使用できます。public_html ディレクトリにアクセスすることもできます。

Cisco NX-OS リリース 6.0(2)U4(1) は、ファイルを HTTP サーバにコピーする場合に非デフォルトポートの設定をサポートします。



(注) **dir** コマンドを使用して、コピー先のファイルシステムに十分な領域があることを確認します。十分な領域が残っていない場合は、**delete** コマンドを使用して不要なファイルを削除します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) pwd 例： switch# pwd	現在のデフォルト ディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	(任意) dir [filesystem://module/][directory] 例： switch# dir bootflash	カレントディレクトリの内容を表示します。ファイルシステムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 3	copy [filesystem://module/][directory/] directory/source-filename {filesystem://module/}[directory/] directory/}[target-filename] 例： switch# copy test old_tests/test1	ファイルをコピーします。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。source-filename 引数は、64 文字以内の英数字で指定します。大文字と小文字が区別されます。target-filename 引数を指定しないと、ファイル名はデフォルトで source-filename 引数値に設定されます。 ファイルを HTTP サーバにコピーする場合、ディレクトリ名およびファイル名には、任意の有効な文字（「~」など）を使用できます。 You can also configure a non-default port when copying a file to an HTTP server by specifying the port number with the server,

	コマンドまたはアクション	目的
		for example copy http://server:port[/path]/filename . copy コマンドは、ftp、scp、sftp、tftp、および http プロトコルをサポートします。

例

次に、パスに「~」などの文字を使用してファイルを HTTP サーバにコピーする例を示します。

```
switch# copy http://2002:48a3:ca47::48a3:ca47/~users/pat3/patch.45.bin bootflash:t.s vrf
management
> % Total % Received % Xferd Average Speed Time Time Time Current
> Dload Upload Total Spent Left Speed
> 100 177M 100 177M 0 0 9665k 0 0:00:18 0:00:18 --:--:-- 9600k
> Copy complete, now saving to disk (please wait)...
> switch#
```

ファイルをリモートサーバに（またはリモートサーバから）コピーするための送信元インターフェイスの設定

リモートサーバへ（またはリモートサーバから）ファイルをコピーする場合に送信元インターフェイスを設定できます。送信元インターフェイスには次のものがあります。

- イーサネット
- ループバック
- 管理
- ポート チャネル
- VLAN

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	copy scheme://server/[url]/filename source-interface type slot/port 例： copy http://123.45.67.890//index.html bootflash: source-interface ethernet 1/5	ファイルをリモートサーバに（またはリモートサーバから）コピーする場合に送信元インターフェイスを使用するように設定します。 scheme 引数として、 tftp 、 ftp 、 scp 、 http 、または sftp を指定できます。server 引数は、リモートサーバのアドレスまたは名前であり、url 引数はリモート

	コマンドまたはアクション	目的
		サーバにあるソースファイルへのパスです。 <i>server</i> 、 <i>url</i> 、および <i>filename</i> の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。

HTTP サーバへのファイルのコピー

新機能の HTTP PUT を使用して、ブートフラッシュ、実行コンフィギュレーション、またはスタートアップコンフィギュレーションからサーバのデフォルトパスの HTTP サーバにファイルをコピーできます。HTTP PUT 機能では、デフォルトまたは管理 VRF 経由でファイルが HTTP サーバにコピーされます。この機能では、HTTP POST メソッドを使用してファイルがアップロードされ、v4/v6 インターフェイス経由での v4/v6 HTTP サーバへの HTTP アップロードを実行できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) pwd 例： switch# pwd	現在のデフォルトディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	必須: copy bootflash :///<filename> http://<httpserver-ip> /path source-interface <interface> 例： switch# copy bootflash::///<filename> http://httpserver-ip/path source-interface <int>	送信元インターフェイス経由でブートフラッシュから HTTP サーバにファイルをコピーします。
ステップ 3	必須: copy bootflash :///<filename> http://<httpserver-ip>/path vrf <default/management> 例： switch# copy bootflash::///<filename> http://httpserver-ip/path vrf <default/management>	デフォルトまたは管理 VRF インターフェイス経由でブートフラッシュから HTTP サーバにファイルをコピーします。
ステップ 4	必須: copy running-config http://<httpserver-ip>/path vrf <default/management> 例：	デフォルトまたは管理 VRF インターフェイス経由で実行設定ファイルを HTTP サーバにコピーします。

	コマンドまたはアクション	目的
	<pre>switch# copy running-config http://httpserver-ip/path vrf <default/management></pre>	
ステップ 5	<p>必須: copy startup-config http://<httpserver-ip>/path vrf <default/management></p> <p>例 :</p> <pre>switch# copy startup-config http://httpserver-ip/path vrf <default/management></pre>	<p>デフォルトまたは管理 VRF インターフェイス経由でスタートアップコンフィギュレーションファイルを HTTP サーバにコピーします。</p>

例

次に、デフォルトの VRF インターフェイス経由で HTTP サーバにファイルをコピーする例を示します。

```
switch# copy n3000-uk9-kickstart.6.0.2.U5.0.995.bin http://12.1.2.10/httproot vrf default
Enter username: test
Enter host password for user 'test':
301 - Moved permanently to <a href="/httproot/">/httproot/</a>Copy
complete, now saving to disk (please wait)...
switch#
```

ファイルの削除

ディレクトリからファイルを削除できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<p>(任意) dir [filesystem://module/][directory]</p> <p>例 :</p> <pre>switch# dir bootflash</pre>	<p>カレント ディレクトリの内容を表示します。ファイルシステムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。</p>
ステップ 2	<p>delete {filesystem://module/}[directory/] directory/}filename</p> <p>例 :</p> <pre>switch# delete test old_tests/test1</pre>	<p>ファイルを削除します。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。<i>source-filename</i> 引数では、大文字と小文字が区別されます。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
		注意 1つのディレクトリを指定している場合、 delete コマンドではディレクトリ全体とその内容すべてが削除されます。

ファイル内容の表示

ファイルの内容を表示できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	show file <code>[filesystem://module/][directory/]filename</code> 例 : <pre>switch# show file bootflash:test-results</pre>	ファイルの内容を表示します。

ファイルチェックサムの表示

ファイルの整合性をチェックするチェックサムを表示できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	show file <code>[filesystem://module/][directory/]filename {cksum md5sum}</code> 例 : <pre>switch# show file bootflash:trunks2.cfg cksum</pre>	ファイルのチェックサムまたは MD5 チェックサムを表示します。

ファイルの圧縮と解凍

Lempel-Ziv 1977 (LZ77) コーディングを使用して Cisco NX-OS デバイス上のファイルを圧縮および圧縮解除できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) dir [<i>filesystem:[//module/]directory</i>] 例： switch# dir bootflash:	カレント ディレクトリの内容を表示します。ファイルシステムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 2	gzip [<i>filesystem:[//module/]directory/</i> <i>directory/</i>] <i>filename</i> 例： switch# gzip show_tech	ファイルを圧縮します。ファイルが圧縮されると、.gz サフィクスが付けられます。
ステップ 3	gunzip [<i>filesystem:[//module/]directory/</i> <i>directory/</i>] <i>filename .gz</i> 例： switch# gunzip show_tech.gz	ファイルを圧縮解除します。圧縮解除するファイルのサフィクスは、.gz である必要があります。ファイルが圧縮解除されると、サフィクスは.gz ではなくなります。

ファイルの最終行の表示

ファイルの最後の行を表示できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	tail [<i>filesystem:[//module/]directory/</i>] <i>filename</i> [<i>lines</i>] 例： switch# tail ospf-gr.conf	ファイルの最後の行を表示します。デフォルトの行数は 10 です。有効な範囲は 0 ~ 80 行です。

ファイルへの show コマンド出力のリダイレクト

show コマンド出力は、bootflash:、slot0:、volatile:、またはリモートサーバ上のファイルにリダイレクトできます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<i>show-command</i> > [<i>filesystem:[//module/]directory/</i> [<i>directory/</i>]] <i>filename</i>	Redirects the output from a show command to a file.

	コマンドまたはアクション	目的
	例： <pre>switch# show tech-support > bootflash:techinfo</pre>	

ファイルの検索

特定のストリングで始まる名前を持つファイルを現在の作業ディレクトリとそのサブディレクトリで検索できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) pwd 例： <pre>switch# pwd</pre>	現在のデフォルト ディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	(任意) cd $\{filesystem:[//module/][directory] directory\}$ 例： <pre>switch# cd bootflash:test_scripts</pre>	デフォルトディレクトリを変更します。
ステップ 3	find filename-prefix 例： <pre>switch# find bgp_script</pre>	指定したファイル名プレフィックスで始まるすべてのファイル名をデフォルトディレクトリとそのサブディレクトリで検索します。ファイル名プレフィクスでは、大文字と小文字が区別されます。

アーカイブ ファイルの操作

Cisco NX-OS ソフトウェアは、アーカイブ ファイルをサポートしています。アーカイブ ファイルを作成したり、既存のアーカイブ ファイルにファイルを追加したり、アーカイブ ファイルからファイルを抽出したり、アーカイブファイル内のファイルのリストを表示したりすることができます。

アーカイブ ファイルの作成

アーカイブ ファイルを作成し、アーカイブ ファイルにファイルを追加できます。次の圧縮タイプを指定できます。

- bzip2
- gzip

- 未圧縮

デフォルト値は `gzip` です。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>tar create {bootflash: volatile:} アーカイブファイル名</code> <code>[absolute]bz2-compressgz-compressremoveuncompressed]</code> <code>[[]] ファイル名リスト verbose</code>	<p>アーカイブファイルを作成し、アーカイブファイルにファイルを追加します。ファイル名は英数字で指定します（大文字と小文字は区別されません）。最大文字数は 240 です。</p> <p>The absolute keyword specifies that the leading backslash characters (\) should not be removed from the names of the files added to the archive file. デフォルトでは、先頭のバックスラッシュ文字は削除されません。</p> <p>The bz2-compress, gz-compress, and uncompressed keywords determine the compression utility used when files are added, or later appended, to the archive and the decompression utility to use when extracting the files. アーカイブファイルに拡張子を指定しない場合、デフォルト値は次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • の bz2-compress 場合、拡張子は <code>bz2-compress</code> です。 • For gz-compress, the extension is <code>.tar.gz</code>. • For uncompressed, the extension is <code>.tar</code>. <p>The remove keyword specifies that the Cisco NX-OS software should delete the files from the file system after adding them to the archive. デフォルトでは、ファイルは削除されません。</p> <p>The verbose keyword specifies that the Cisco NX-OS software should list the files as they are added to the archive. デフォルトで、ファイルは追加されると一覧表示されます。</p>

例

次に、gzip 圧縮アーカイブ ファイルを作成する例を示します。

```
switch# tar create bootflash:config-archive gz-compress bootflash:config-file
```

アーカイブ ファイルへのファイルの追加

Cisco NX-OS デバイス上の既存のアーカイブ ファイルにファイルを追加できます。

始める前に

Cisco NX-OS デバイスでアーカイブ ファイルを作成しました。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>tar append {bootflash: volatile:}</code> アーカイブファイル名 <code>[absolute]remove[] [verbose]</code> ファイル名リスト	<p>既存のアーカイブ ファイルにファイルを追加します。アーカイブ ファイルの名前は、大文字と小文字が区別されません。</p> <p>The absolute keyword specifies that the leading backslash characters (\) should not be removed from the names of the files added to the archive file. デフォルトでは、先頭のバックスラッシュ文字は削除されません。</p> <p>The remove keyword specifies that the Cisco NX-OS software should delete the files from the filesystem after adding them to the archive. デフォルトでは、ファイルは削除されません。</p> <p>The verbose keyword specifies that the Cisco NX-OS software should list the files as they are added to the archive. デフォルトでは、追加されたファイルが一覧表示されません。</p>

例

次に、既存のアーカイブ ファイルにファイルを追加する例を示します。

```
switch# tar append bootflash:config-archive.tar.gz bootflash:new-config
```

アーカイブファイルからのファイルの抽出

ファイルは、Cisco NX-OS デバイス上の既存のアーカイブファイルに抽出できます。

始める前に

Cisco NX-OS デバイスでアーカイブファイルを作成しました。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>tar extract {bootflash: volatile:}archive-filename [keep-old] [screen] [to {bootflash: volatile:}[/directory-name]] [verbose]</code>	<p>既存のアーカイブファイルからファイルを抽出します。アーカイブファイル名では、大文字と小文字は区別されません。</p> <p>The keep-old keyword indicates that the Cisco NX-OS software should not overwrite files with the same name as the files being extracted.</p> <p>The screen keyword specifies that the Cisco NX-OS software should display the contents of the extracted files to the terminal screen.</p> <p>The to keyword specifies the target file system. ディレクトリ名を含めることができます。ディレクトリ名は、240 文字以内の英数字で指定します。大文字と小文字が区別されます。</p> <p>The verbose keyword specifies that the Cisco NX-OS software should display the names of the files as they are extracted.</p>

例

次に、既存のアーカイブファイルからファイルを抽出する例を示します。

```
switch# tar extract bootflash:config-archive.tar.gz
```

アーカイブファイルのファイル名の表示

`tar list` コマンドを使用して、アーカイブファイル内のファイルの名前を表示できます。

```
tar list {bootflash: | volatile:}archive-filename
```

アーカイブファイル名では、大文字と小文字は区別されません。

```
switch# tar list bootflash:config-archive.tar.gz
config-file
new-config
```

ファイルシステムの使用例

ここでは、Cisco NX-OS デバイスでのファイルシステムの使用例を示します。

スタンバイ スーパーバイザ モジュール上のディレクトリへのアクセス

次に、スタンバイ スーパーバイザモジュール上のファイルのリストを表示する例を示します。

```
switch# dir bootflash://sup-remote
12198912    Aug 27 16:29:18 2003  m9500-sflek9-kickstart-mzg.1.3.0.39a.bin
1864931    Apr 29 12:41:59 2003  dplug2
12288      Apr 18 20:23:11 2003  lost+found/
12097024   Nov 21 16:34:18 2003  m9500-sflek9-kickstart-mz.1.3.1.1.bin
41574014   Nov 21 16:34:47 2003  m9500-sflek9-mz.1.3.1.1.bin

Usage for bootflash://sup-remote
67747169 bytes used
116812447 bytes free
184559616 bytes total
```

次に、スタンバイ スーパーバイザ モジュール上のファイルを削除する例を示します。

```
switch# delete bootflash://sup-remote/aOldConfig.txt
```

ファイルの移動

次に、外部フラッシュ デバイス上のファイルを移動する例を示します。

```
switch# move slot0:samplefile slot0:mystorage/samplefile
```

次に、デフォルト ファイル システム内のファイルを移動する例を示します。

```
switch# move samplefile mystorage/samplefile
```

ファイルのコピー

次に、slot0: ファイルシステムのルートディレクトリから、samplefile というファイルを mystorage ディレクトリにコピーする例を示します。

```
switch# copy slot0:samplefile slot0:mystorage/samplefile
```

次に、カレントディレクトリ レベルからファイルをコピーする例を示します。

```
switch# copy samplefile mystorage/samplefile
```

次に、アクティブスーパーバイザ モジュールのブートフラッシュからスタンバイスーパーバイザ モジュールのブートフラッシュにファイルをコピーする例を示します。

```
switch# copy bootflash:system_image bootflash://sup-2/system_image
```

copy コマンドを使用して、slot0: または bootflash: ファイルシステムと、FTP、TFTP、SFTP、またはSCPサーバの間でファイルのアップロードおよびダウンロードを行うこともできます。

ディレクトリの削除

ディレクトリは、デバイス上のファイルシステムから削除できます。

始める前に

ディレクトリを削除する前に、ディレクトリが空白であることを確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	(任意) pwd 例： switch# pwd	現在のデフォルトディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	(任意) dir [filesystem :[/module/][directory]] 例： switch# dir bootflash:test	カレントディレクトリの内容を表示します。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。 ディレクトリが空白でない場合は、ディレクトリを削除する前に、ディレクトリ内のすべてのファイルを削除する必要があります。
ステップ 3	rmdir [filesystem :[/module/]]directory 例： switch# rmdir test	ディレクトリを削除します。ファイルシステムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。

ファイル内容の表示

次に、外部フラッシュ デバイスのファイルの内容を表示する例を示します。

```
switch# show file slot0:test
configure terminal
interface ethernet 1/1
no shutdown
end
show interface ethernet 1/1
```

次に、現在のディレクトリに存在するファイルの内容を表示する例を示します。

```
switch# show file myfile
```

ファイルチェックサムの表示

次に、ファイルのチェックサムを表示する例を示します。

```
switch# show file bootflash:trunks2.cfg cksum
583547619
```

次に、ファイルのMD5チェックサムを表示する例を示します。

```
switch# show file bootflash:trunks2.cfg md5sum
3b94707198aabefcf46459de10c9281c
```

ファイルの圧縮と解凍

次に、ファイルを圧縮する例を示します。

```
switch# dir
 1525859      Jul 04 00:51:03 2003 Samplefile
...
switch# gzip volatile:Samplefile
switch# dir
 266069      Jul 04 00:51:03 2003 Samplefile.gz
...

```

次に、圧縮ファイルを解凍する例を示します

```
switch# dir
 266069      Jul 04 00:51:03 2003 Samplefile.gz
...
switch# gunzip samplefile
switch# dir
 1525859      Jul 04 00:51:03 2003 Samplefile
...

```

show コマンド出力のリダイレクト

次に、出力を bootflash: ファイルシステム上のファイルに誘導する例を示します。

```
switch# show interface > bootflash:switch1-intf.cfg
```

次に、出力を外部フラッシュメモリ上のファイルに誘導する例を示します。

```
switch# show interface > slot0:switch-intf.cfg
```

次に、出力を TFTP サーバ上のファイルに誘導する例を示します。

```
switch# show interface > tftp://10.10.1.1/home/configs/switch-intf.cfg
Preparing to copy...done
```

次に、**show tech-support** コマンドの出力をファイルにダイレクトする例を示します。

```
switch# show tech-support > Samplefile
Building Configuration ...
switch# dir
 1525859      Jul 04 00:51:03 2003 Samplefile
Usage for volatile://
 1527808 bytes used
19443712 bytes free
20971520 bytes total
```

ファイルの検索

次に、現在のデフォルトディレクトリ内でファイルを検索する例を示します。

```
switch# find smm_shm.cfg
/usr/bin/find: ./lost+found: Permission denied
./smm_shm.cfg
./newer-fs/isan/etc/routing-sw/smm_shm.cfg
./newer-fs/isan/etc/smm_shm.cfg
```

ファイルシステムパラメータのデフォルト設定

次の表に、ファイルシステムパラメータのデフォルト設定を示します。

表 2: デフォルトのファイルシステム設定

パラメータ	デフォルト
デフォルト ファイルシステム	bootflash:

ファイルシステムに関する追加情報

ここでは、ファイルシステムに関する追加情報について説明します。

ファイルシステムの関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
ライセンス	『Cisco NX-OS Licensing Guide』
コマンドリファレンス	『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Fundamentals Command Reference』

